

人も地球も健康に

**Yakult**

株式会社ヤクルト本社

第69期  
中間期 **株主通信**

2020年4月1日 ~ 2020年9月30日



**掲載内容**

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集「腸から元気」をさらに多くの方に「体感」していただくために!
- 11 クローズアップ「機能性表示食品」について!
- 13 会社情報

## ごあいさつ



代表取締役社長

根岸考成

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申し上げます。

ここに、2020年4月1日から2020年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

2020年12月

## 当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きがみられています。

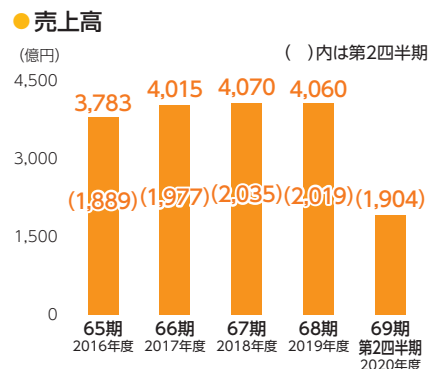
このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

## 連結業績 ハイライト

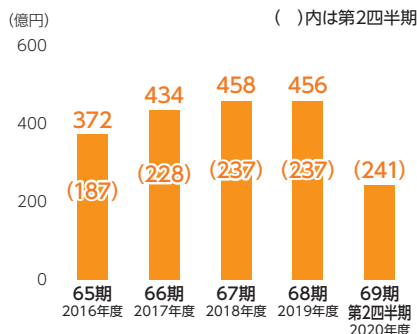


売上高は1,904億円(前年同期比5.7%減)となりました。利益面においては、営業利益は241億円(前年同期比1.8%増)、経常利益は334億円(前年同期比

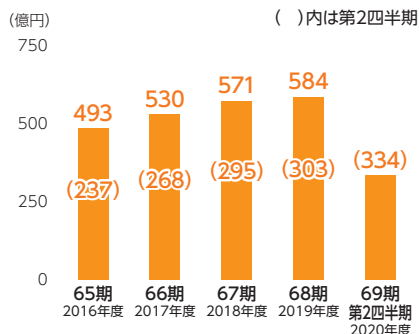
10.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は217億円(前年同期比5.1%増)となりました。

	当第2四半期連結累計期間	通期の見通し
売上高	<b>1,904</b> 億円 (前年同期比 <b>5.7%</b> 減)	<b>3,880</b> 億円 (前期比 <b>4.4%</b> 減)
営業利益	<b>241</b> 億円 (前年同期比 <b>1.8%</b> 増)	<b>430</b> 億円 (前期比 <b>5.9%</b> 減)
経常利益	<b>334</b> 億円 (前年同期比 <b>10.5%</b> 増)	<b>585</b> 億円 (前期比 <b>0.0%</b> 増)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	<b>217</b> 億円 (前年同期比 <b>5.1%</b> 増)	<b>400</b> 億円 (前期比 <b>0.7%</b> 増)

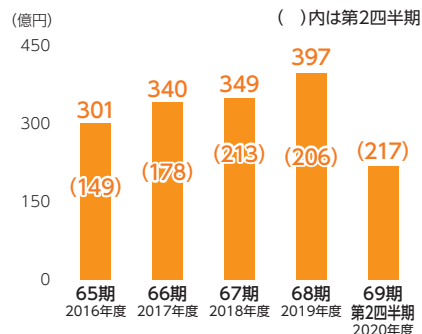
## ● 営業利益



## ● 経常利益



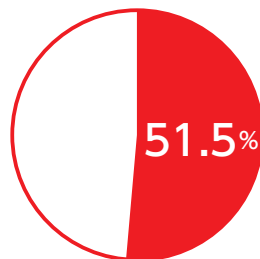
## ● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

## 飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高

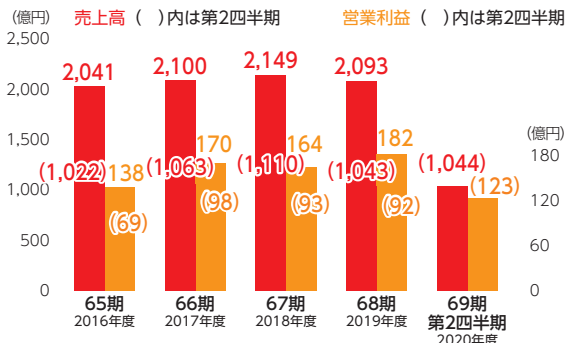
**1,044** 億円

(前年同期比: 0.1% ↑)

営業利益

**123** 億円

(前年同期比: 33.8% ↑)



国内における営業活動につきましては、新型コロナウイルスが感染拡大している状況において、お客さまおよび従事者への感染拡大防止策を講じながら活動を実施しました。

宅配チャネルにおいては、お客さまのニーズに合わせたお届け方を通じて、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400W」を含む「ヤクルト400」シリーズおよび「Yakult(ヤクルト)1000」を中心に、既存のお客さまへ継続飲用の促進や新規のお客さまづくりに努めました。また、インターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」では、テレビCM等を放映することで認知度が向上し、利用者数、売り上げがともに増加しました。

店頭チャネルにおいては、お客さまの健康維持への備えとして乳酸菌に対する期待が高まったことから、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」の需要が増加しました。

一方、リモートワークの増加や消費者の外出自粛の影響を受け、自動販売機の売り上げが減少しました。

商品別では、8月には、乳製品乳酸菌飲料「Yakult(ヤクルト)1000」の販売地区を関東1都6県から北海道、東北地区全域と静岡県、山梨県、長野県、新潟県に広げたほか、9月には、はち酵乳「ミルミル」類のデザインリニューアルを行い、両商品ともにテレビCMを放映するなど、ブランドの活性化を図りました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(日本)の連結売上高は1,044億円(前年同期比0.1%増)となりました。

NEWS

&

TOPICS

2020

### 「ヤクルトCSRレポート2020」および「ヤクルトCSRコミュニケーションブック2020」を公開

当社では、投資家をはじめ、当グループに関心をお持ちの皆さまに情報を提供するツールとして、2019年度のCSR活動の実績や課題をまとめた年次報告書「ヤクルトCSRレポート2020」を当社ホームページ上で公開しています。また、当グループのCSR活動を、一般生活者の方にも読んでいただけるようイラストや写真を用いて読みやすく編集した「ヤクルトCSRコミュニケーションブック2020」も公開しています。

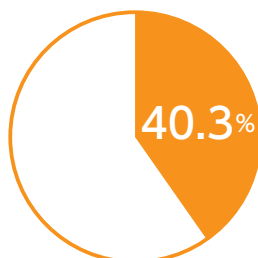
ヤクルト  
CSRレポート  
2020



ヤクルトCSR  
コミュニケーション  
ブック2020



## 飲料および食品製造販売事業部門(海外)



売上高構成比

## 当第2四半期連結累計期間

売上高

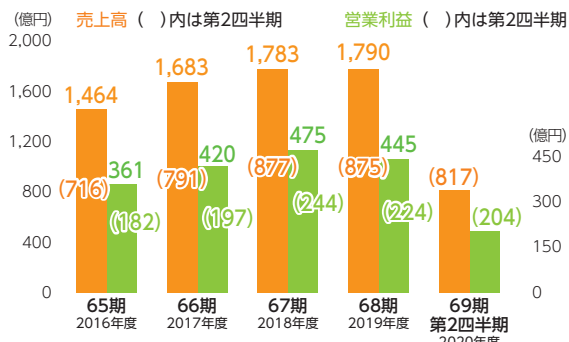
817 億円

(前年同期比: 6.7% ↓)

営業利益

204 億円

(前年同期比: 8.8% ↓)



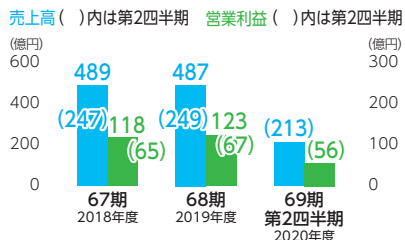
## 米州地域

売上高 213億円 (前年同期比: 14.5% ↓)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では、宅配・店頭の両チャネルにおける販売体制強化を図り、売り上げの増大に努めました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(米州地域)の連結売上高は213億円(前年同期比14.5%減)となりました。



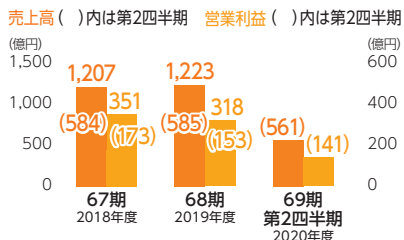
## アジア・オセアニア地域

売上高 561億円 (前年同期比: 4.1% ↓)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、ミャンマーおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

中国においては、8月までに販売拠点を49か所に拡大し、さらなる販売体制の強化を図りました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(アジア・オセアニア地域)の連結売上高は561億円(前年同期比4.1%減)となりました。



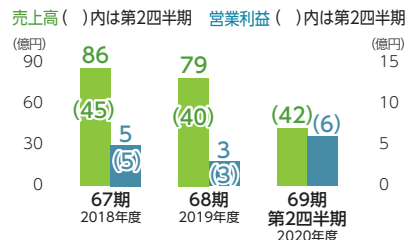
## ヨーロッパ地域

売上高 42億円 (前年同期比: 4.2% ↑)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

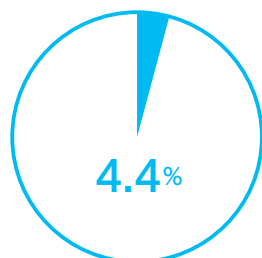
ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。このような状況の中、各国事業所による市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(ヨーロッパ地域)の連結売上高は42億円(前年同期比4.2%増)となりました。



# Financial Result by Segments

## 医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高

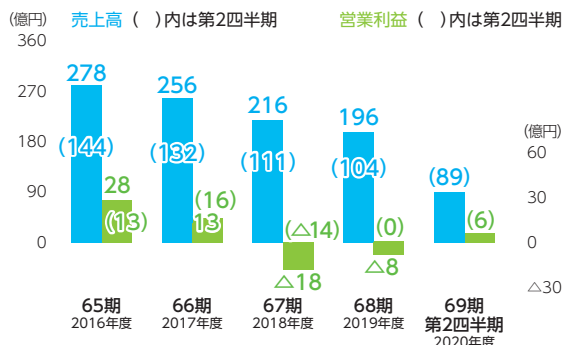
89 億円

(前年同期比：14.2% ↓)

営業利益

6 億円

(前年同期比：542.8% ↑)



医薬品につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため医療機関への訪問を自粛していますが、医療関係者のニーズに合わせてWeb会議等を活用し、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力や医療関係者との信頼関係により、引き続き「エルプラット」を選択してもらうための活動を展開しました。また、後発医薬品の当社主力製品である代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピン「ヤクルト」の販路拡大に加え、抗悪性腫瘍剤「カペシタビン錠「ヤクルト」の売り上げの増大に努めました。そのほか、日本セルヴィエ社とのプロモーション契約に基づき、本年6月に発売になった抗悪性腫瘍剤「オニバイド®」(イリノテカン塩酸塩水和物 リポソーム製剤)の医療機関における速やかな採用と市場浸透に向けたプロモーション活動を積極的に推進しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響および昨年10月と本年4月に実施された薬価改定において大半の当社製品の薬価が引き下げられたことにより、売り上げに影響を受けました。

一方、研究開発においては、ベラステム社(米国)と日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約を締結したPI3K阻害剤「デュベリシブ」や、45C社(ドイツ)から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」などの開発品目の臨床開発を推進しました。なお、8月にベラステム社は米国ベンチャー企業のセキュラ・バイオ社へ「デュベリシブ」の権利を譲渡する契約を締結し、9月にセキュラ・バイオ社への製品譲渡が完了しました。また、ベラステム社と当社間のライセンス契約に基づき、当社に許諾された権利(日本での開発・販売権等)と契約条件等については一切変更なく承継されます。

これらの結果、医薬品製造販売事業部門の連結売上高は89億円(前年同期比14.2%減)となりました。

NEWS

&

TOPICS

2020

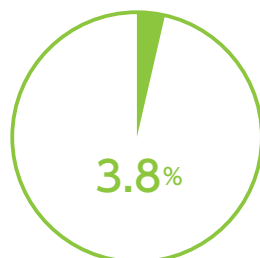
### 乳酸菌ラクトバチルス カゼイ シロタ株を含む乳製品の飲用により、ベトナムの幼児の便秘および急性呼吸器感染症の発生率低減を確認

当社とベトナム保健省国立栄養研究所は、ベトナムの幼児約1,000名を対象に、生きた乳酸菌ラクトバチルス カゼイ シロタ株を含む乳製品の継続飲用による便秘、下痢および急性呼吸器感染症(以下ARI)\*の発生率に着目した飲用試験を行いました。その結果、12週間継続飲用した群では、飲用しなかった群と比較して便秘およびARIの発生率は有意に低く、下痢の発生率は低い傾向にあることがわかりました。

\*ウイルス、細菌、マイコプラズマ、クラミジアなど多種類の病原微生物によって引き起こされる疾患で、上気道炎、急性中耳炎、咽頭炎、喉頭炎、クループ、気管支炎、細気管支炎、肺炎など。

一度に2種類の生菌(「乳酸菌 シロタ株」と「ビフィズス菌 BY株」)が摂れる「マルチプロバイオティクスサプリメント」15包入りをAmazon限定で、30包入りを当社ウェブ特設サイトのみで販売しています。アルミスティック包装入りで携帯に便利です。

## その他事業部門



売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高

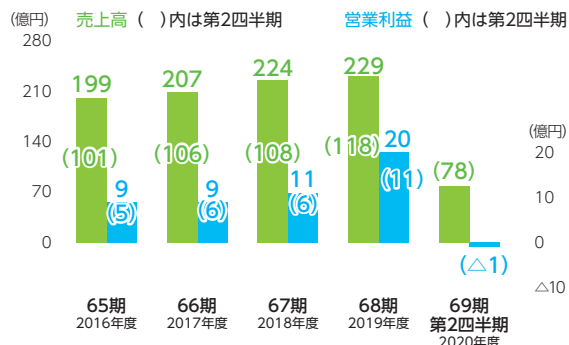
78 億円

(前年同期比：33.9% ↓)

営業利益

△ 1 億円

(前年同期比： — ↓)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分[S.E.(シロタエッセンス)]の「価値普及」活動に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と化粧品愛用者数の増大に努めました。

具体的には、7月に[S.E.(シロタエッセンス)]を配合した保湿効果の高い基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズから「ラクトデュウ S.E.クレンジング(オイル)」と「ラクトデュウ S.E.ウォッシング」の2品を発売し、同シリーズのラインアップ強化によるお客さま満足度の向上を図りました。

さらに、新たな取り組みとして、中国の電子商取引(EC)ショッピングサイト「天猫国際(Tmall Global)」に旗艦店を立ち上げ、販売を開始し売上げの増大に努めました。

一方、プロ野球興行につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入場者数を制限した状況での試合開催を余儀なくされ、影響を受けましたが、安心して観戦していただける環境づくりと各種ファンサービスを通じて皆さまの期待に応えるべく対応を図りました。

これらの結果、その他事業部門の連結売上高は78億円(前年同期比33.9%減)となりました。

## 中国において化粧品販売を開始

中国における乳酸菌飲料「ヤクルト」の高い認知度を活かし、2020年7月、中国の電子商取引(EC)ショッピングサイト「天猫国際(Tmall Global)」に旗艦店を立ちあげ、越境ECで化粧品の販売を開始しました。「ラクトデュウ」「パラビオ」「リベシィ」などスキンケア化粧品を中心に44アイテムを販売しています。

旗艦店オフィシャルアカウント URL : yakultglobal.tmall.hk



# ■ Consolidated Financial Statements

## 第2四半期連結貸借対照表

単位：億円

科目	第68期 2020年3月31日現在	第69期第2四半期 2020年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,658	2,597
固定資産	3,620	3,597
有形固定資産	2,039	1,991
無形固定資産	44	46
投資その他の資産	1,536	1,559
資産合計	6,278	6,195
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,090	1,016
固定負債	1,067	1,035
負債合計	2,157	2,052
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,976	4,172
資本金	311	311
資本剰余金	414	409
利益剰余金	3,799	3,979
自己株式	△ 549	△ 527
その他の包括利益累計額	△ 242	△ 360
その他有価証券評価差額金	199	233
為替換算調整勘定	△ 401	△ 556
退職給付に係る調整累計額	△ 40	△ 37
非支配株主持分	387	331
純資産合計	4,120	4,142
負債・純資産合計	6,278	6,195

## 第2四半期連結損益計算書

単位：億円

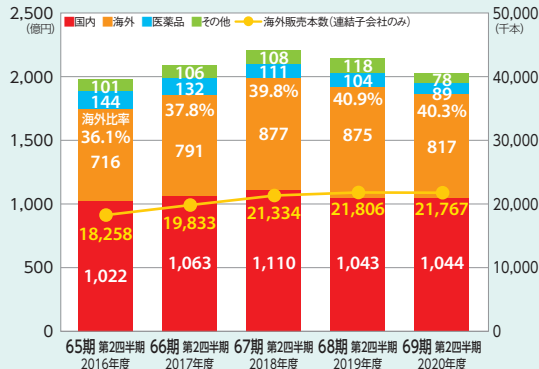
科目	第68期第2四半期累計 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第69期第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	2,019	1,904
売上原価	845	772
売上総利益	1,174	1,131
販売費及び一般管理費	937	889
営業利益	237	241
営業外収益	76	99
受取利息	26	21
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	27	20
為替差益	—	31
その他	11	13
営業外費用	10	6
支払利息	4	3
その他	6	2
経常利益	303	334
特別利益	19	14
投資有価証券売却益	18	11
その他	0	2
特別損失	14	21
投資有価証券評価損	8	7
新型コロナウイルス関連費	—	11
その他	6	2
税金等調整前四半期純利益	307	327
法人税等	76	87
四半期純利益	231	240
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	217



### 第69期第2四半期のポイント

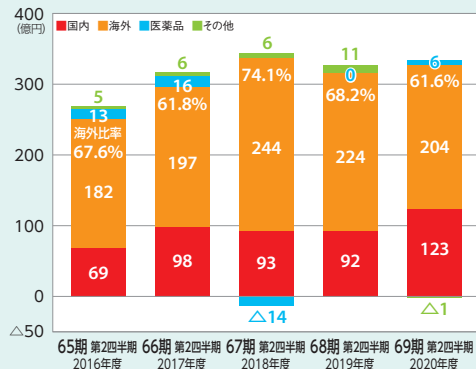
1. 全体(減収・増益)
2. 国内飲料(微増収・増益)
  - ・乳製品：新製品(Yakult 1000等)の導入効果および販売数量増
  - ・清涼飲料等：新型コロナウイルスによる販売数量減
  - ・営業活動自粛等に伴う経費減
3. 海外飲料(減収・減益)
  - ・販売数量は、ほぼ前期並み
  - ・円高による為替のマイナス影響等
4. 医薬品(減収・増益)
  - ・薬価改定の影響
  - ・営業活動自粛等に伴う経費減

#### ▶ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上上の消去前金額で表示しています。

#### ▶ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

科目	第68期第2四半期累計	第69期第2四半期累計
	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	223	233
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	3	45
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 96
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119	75
現金及び現金同等物の期首残高	1,031	1,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,151	1,320

### キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益327億円、減価償却費等があったことにより233億円(前年同期比9億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の増設および更新等による固定資産の取得があった一方で定期預金の払戻があったことにより45億円(前年同期比42億円の収入増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入およびリース債務の返済や配当金の支払い等により△96億円(前年同期比0億円の支出増)となりました。

★より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

# 「腸から元気」をさらに多くの方に「体感」して

ヤクルトの最先端の研究成果から生まれた機能性表示食品「**Yakult(ヤクルト)1000**」そして「**ヤクルト400W**」。  
販売好調なこれらの商品の機能をさらに多くのお客さまに体感していただくため、販売地域の拡大を目指しています。



## ヤクルト400W

ダブル  
**W**の強さ

乳酸菌  
シロタ株  
400億個

ガラクト  
オリゴ糖  
5.0g

良い菌を  
増やす

腸内環境を  
改善する

お通じを  
改善する

販売地域の  
さらなる拡大を  
検討中!

### 販売地域

- 九州地区(2020年1月20日~)
- 中国・四国地区全域と兵庫県(一部)、奈良県、和歌山県、岐阜県(一部)、三重県、石川県(一部)、福井県(2020年4月6日~)
- 近畿地区全域、愛知県、岐阜県、石川県、富山県の全域(2020年6月1日~)



「ヤクルト400W」  
機能性エビデンスの詳細  
2020年9月9日  
プレスリリース

### 「ヤクルト400W」の届出表示

本品には生きて腸内に到達する乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)とガラクトオリゴ糖が含まれます。乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)とガラクトオリゴ糖には、良い菌(乳酸菌、ビフィズス菌)を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されています。



いただくために!

### ヤクルト商品のお問い合わせ

ヤクルトお客さま相談センター

 **0120-11-8960** (受付時間 9:00~17:00)

(土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

携帯電話・PHSからはナビダイヤル**0570-00-8960**へお願いします。

(通話料お客さまご負担:20秒ごとにおよそ10円\*)

\*時間を短縮している場合があります。 \*通話料有料

東  
から  
西  
へ

ヤクルト  
**Yakult 1000**

ヤクルト史上最高密度

乳酸菌  
シロタ株  
1000億個

一時的な精神的ストレスがかかる状況での

ストレスの  
緩和

睡眠の  
質向上

腸内環境  
改善

### 販売地域

- 関東1都6県(2019年10月1日~)
- 北海道・東北地区全域と静岡県、山梨県、長野県、新潟県(2020年8月31日~)

(小笠原諸島)



[Yakult(ヤクルト)1000]  
機能性エビデンスの詳細  
2019年7月30日  
プレスリリース

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

### 「Yakult(ヤクルト)1000」の届出表示

本品には乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

Close  
Up

Yakult(ヤクルト) 1000

ヤクルト400W

# 「機能性表示食品」について!

当中間期のトピックスを交えご説明します。

## 機能性表示食品とは

国の定めるルールに基づき、事業者が食品の安全性と機能性に関する科学的根拠などの必要な事項を販売前に消費者庁長官に届け出れば、機能性を表示することができる制度です。

### 機能性表示食品のメリット

- お客さまに商品の持つ機能性をわかりやすく伝えることができる

一方で・・・

ここ重要です!

安全性の確保・科学的エビデンス、品質管理など企業としての「信頼」が問われます。

## ヤクルトの自信が詰まった機能性表示食品

- ① プロバイオティクスの時代をリードする**研究開発力と技術力**
- ② 日本を含む**世界40の国と地域**で飲料および食品製造販売事業を展開
- ③ 日本国内のみならず、海外の研究者も**さまざまな学術論文**を発表

実績・信頼が  
違います!

## 確かな科学的根拠と商品の革新性

乳酸菌ラクトバチルス カゼイ シロタ株の  
**高菌数、高密度化技術と脳腸軸を介した新規保健機能研究が**  
**「令和2年度 日本栄養・食糧学会 技術賞」を受賞**

高菌数、高密度化したL. カゼイ・シロタ株含有発酵乳飲料を用いた  
**脳腸軸に関する研究(ストレスや睡眠の質に関する研究)**を通じ、同飲料の「機能性表示食品」としての商品化を進めるなど、研究の実用化につなげた成果が認められ受賞となりました。

上記研究成果の詳細  
2020年9月9日プレスリリース▶



評価ポイント

菌の  
培養技術の  
改良

最先端の  
研究領域の  
実用化

高菌数・高密度化

脳腸相関に着目

ストレス緩和や睡眠の質を向上する  
**新基軸の「機能性表示食品」を上市**

届出表示を解説!

## Yakult (ヤクルト) 1000

生きて腸まで届く「乳酸菌 シロタ株」の高菌数・高密度化技術がこれまでにない「機能」を生みだしました!

本品には乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。



## ヤクルト400W

本品には生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)とガラクトオリゴ糖が含まれます。

乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)とガラクトオリゴ糖には、良い菌(乳酸菌、ビフィズス菌)を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されています。



臨床試験で科学的根拠を示した場合は「機能があります」と表示され、論文レビューにより関与成分の機能を表示する場合は「報告されています」と表示されます。

生きて腸まで届く「乳酸菌 シロタ株」と腸内の良い菌を増やす「ガラクトオリゴ糖」のはたらきを分かりやすく表示しています。

スマホからでも  
ご注文いただけます!



## ご注文はネットでいつでもカンタン! ヤクルト届けてネット

「Yakult(ヤクルト)1000」「ヤクルト400W」は宅配専用商品です。「ヤクルト届けてネット」でご注文いただけます。

- お届け日時カンタン指定
- クレジットカード決済も可能
- 対面で受け取りができない場合、保冷受箱にお届けします。



ヤクルト届けてネットについてのお問い合わせ先は

届けてネット

検索



入会金、年会費、  
送料(お届け代)  
すべて無料!

Model Change



冬制服を15年ぶりに  
モデルチェンジした  
ヤクルトレディが  
お届け!

新制服のヤクルトレディが地域の皆さまに自信を持ってお届けします。



# Information

現在、日本を含む40の国と地域で、主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、世界中で毎日4,000万人を超える方々(2020年3月期実績)にご愛飲いただいています。

## 【世界の乳製品販売本数】



海外：2020年1月～6月の1日当たり平均本数  
日本：2020年4月～9月の1日当たり平均本数

### EUROPE

▶国と地域：13

▶1日当たりの販売本数：67万本

#### ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス
- デンマーク

### THE AMERICAS

▶国と地域：6

▶1日当たりの販売本数：554万本

#### 米州地域

- ブラジル
- アメリカ
- メキシコ
- カナダ
- ウルグアイ
- ペリリーズ

### JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：962万本

### ASIA AND OCEANIA

#### アジア・オセアニア地域

▶国と地域：20

▶1日当たりの販売本数：2,366万本

- 台湾
- マレーシア
- 香港
- ニュージーランド
- タイ
- ベトナム
- 韓国
- インド
- フィリピン
- アラブ首長国連邦
- シンガポール
- オマーン
- ブルネイ
- バーレーン
- インドネシア
- カタール
- オーストラリア
- クウェート
- 中国
- ミャンマー

## 会社概要

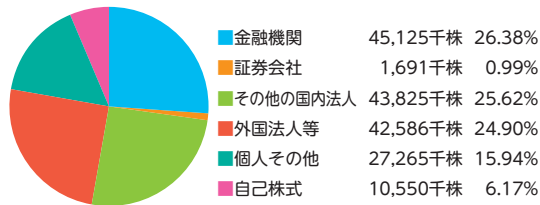
商号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立	1955年4月9日
本店	東京都港区海岸1丁目10番30号
電話	03(6625)8960(大代表)
資本金	311億17百万円
従業員	2,931人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者311人および嘱託166人を含んでいます。

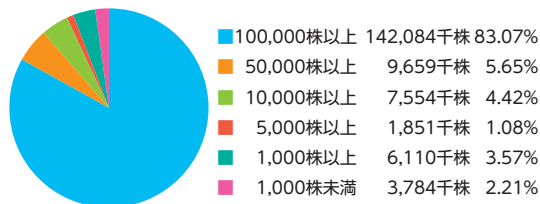
## 株式の状況

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式総数	171,045,418株
株主数	29,607名

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



## 役員

代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	今田 正男	常勤監査役	山上 博資
取締役	成田 裕	取締役	*リチャード ホール	常勤監査役	川名 秀幸
取締役	若林 宏	取締役	*安田 隆二	監査役	谷川 清十郎
取締役	石川 文保	取締役	*福岡 政行	監査役	手塚 仙夫
取締役	伊藤 正徳	取締役	*前田 典人	監査役	町田 恵美
取締役	土井 明文	取締役	*パカルゴドバトリニ		*非常勤
取締役	林田 哲哉	取締役	*戸部 直子		
取締役	平野 晋				

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,665	6.24
ダノン プロバイオティックス ピーティイー リミテッド	10,612	6.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,786	3.97
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,785	2.21
松尚株式会社	3,417	2.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	2,882	1.68
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28
中村 輝夫	2,031	1.19

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。上表のほか、当社は自己株式 10,550 千株を保有しています。

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

## 株主優待

毎年3月31日現在で100株以上ご所有の株主さま  
当社商品詰め合わせを贈呈

※1,000株以上ご所有の株主さまは商品内容が異なります。  
※ご所有期間3年以上の株主さまは「化粧品」を追加で贈呈します。

※商品発送は6月上旬の予定です。

毎年9月30日現在で100株以上ご所有の株主さま  
東京ヤクルトスワローズオフィシャルファンクラブ  
(スワローズブルー)にご入会いただける権利を  
ご提供

※ご所有株数によってご入会いただける会員種別が異なります。

※入会についてのご案内は、本誌と同封しております。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

株主総会 定時株主総会 毎年6月中  
臨時株主総会 必要に応じ随時

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を  
することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社

事務取扱場所 〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地  
(NMF 竹橋ビル6F)

(郵便物送付先)  
(連絡先) 〒168-8522  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
☎0120-49-7009

### 株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い  
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など  
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

# Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区海岸1丁目10番30号

TEL : 03-6625-8960(大代表)

<https://www.yakult.co.jp/>

